

第60期(2012年3月期) 決算説明会



2012年5月18日





1. 第60期(2012年3月期) 決算概要



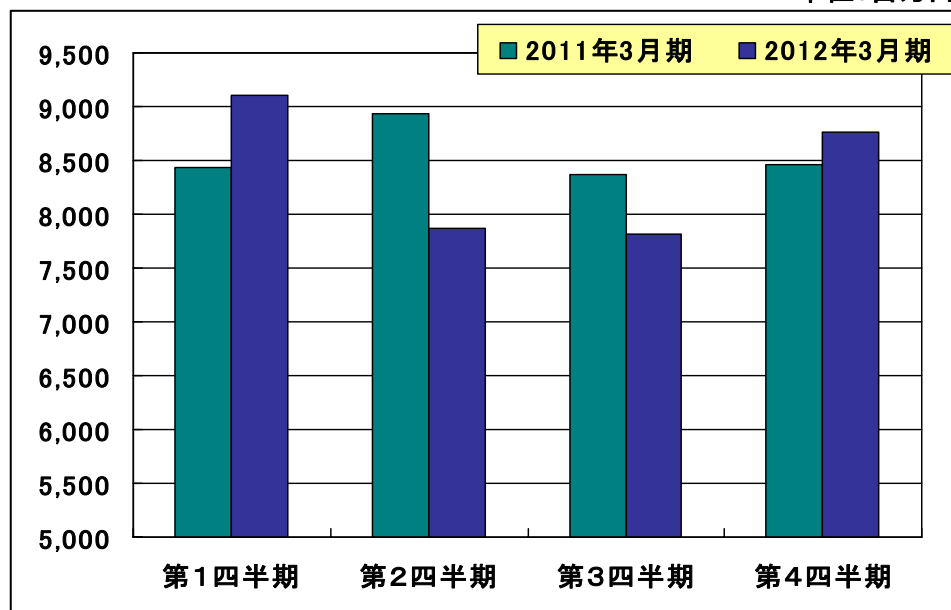
連結業績概要

2012年3月期

- ◆東日本大震災の影響による供給不足の懸念から、部品・部材確保による需要により第1四半期は堅調に推移。
- ◆第2・第3四半期は、第1四半期の反動や急激な円高、欧州金融不安、米国・中国の景気後退等の影響で一転して低調に推移。
- ◆第3四半期後半から第4四半期にかけては、タイの洪水からの復興需要や半導体微細化に伴う投資需要が一部に見られたものの、通期では低調に推移。

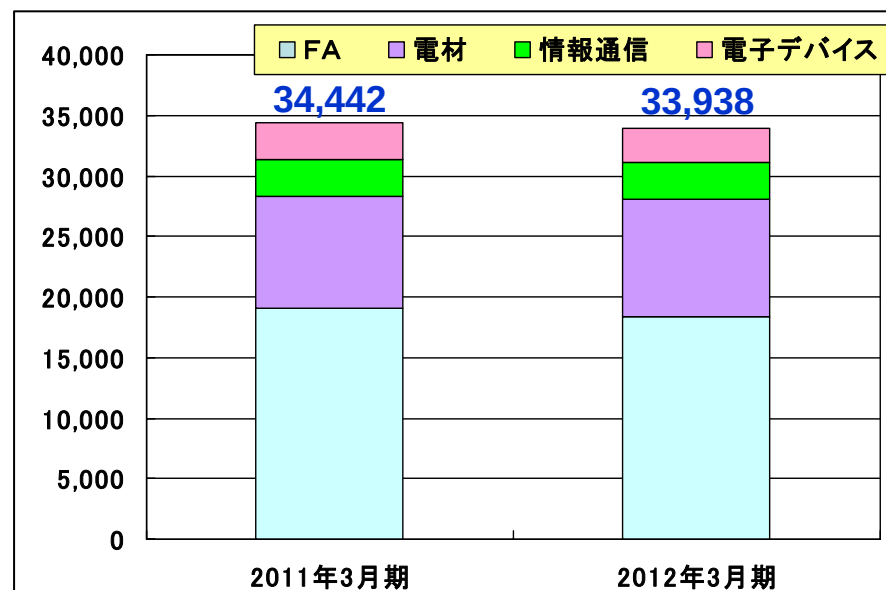
四半期別 売上高推移

単位:百万円



通期 売上高推移

単位:百万円



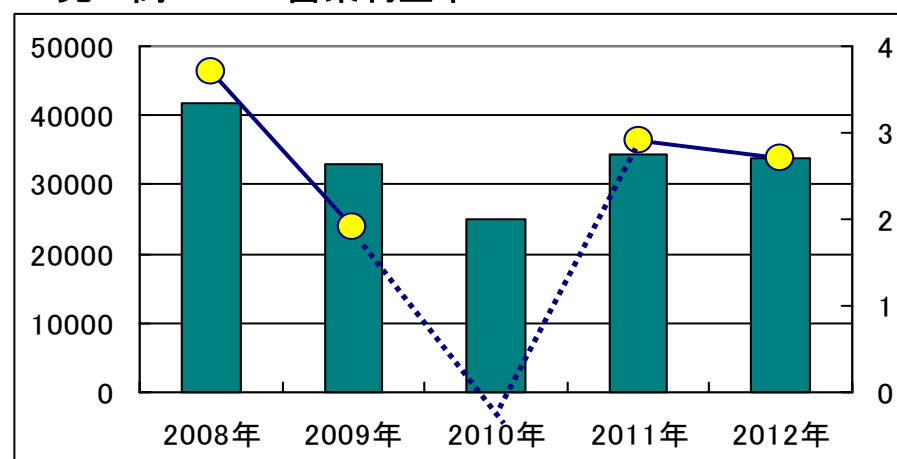
連結業績

単位: 百万円

	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年3月期	2012年 2月6日 公表時予想	差異
売上高	41,772	33,034	25,068	34,442	33,938	35,100	▲1,161
営業利益	1,542	620	▲14	983	943	790	153
(営業利益率)	(3.7%)	(1.9%)	— %	(2.9%)	(2.8%)	(2.3%)	(+0.5%)
経常利益	1,726	746	120	1,125	1,127	970	157
(経常利益率)	(4.1%)	(2.3%)	(0.5%)	(3.3%)	(3.3%)	(2.8%)	(+0.5%)
当期純利益	968	399	93	694	581	510	71
1株当り配当金	33 円	14 円	0 円	16 円	14 円	12 円	+ 2 円

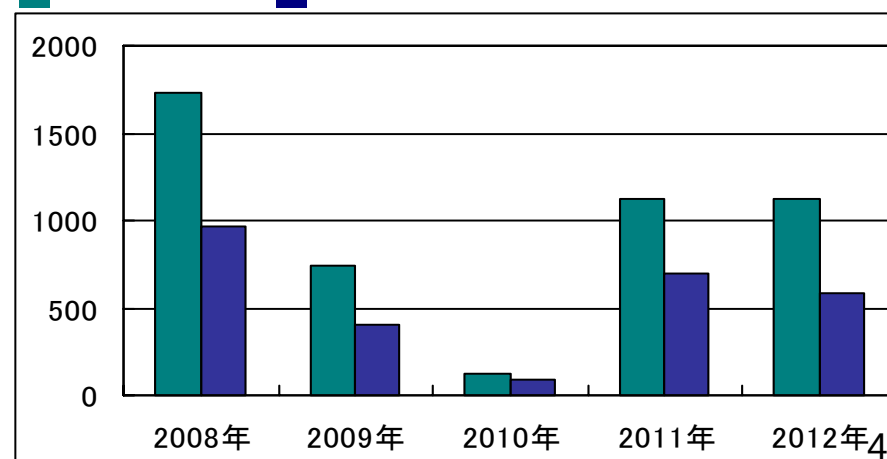
■ 売上高 ● 営業利益率

単位: 百万円



■ 経常利益 ■ 純利益

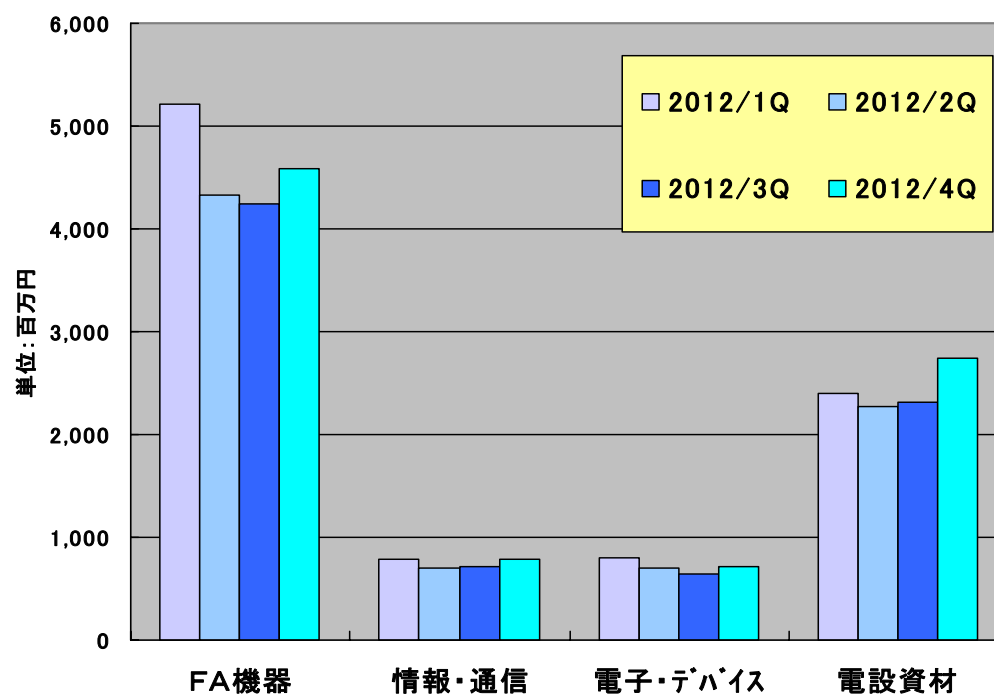
単位: 百万円



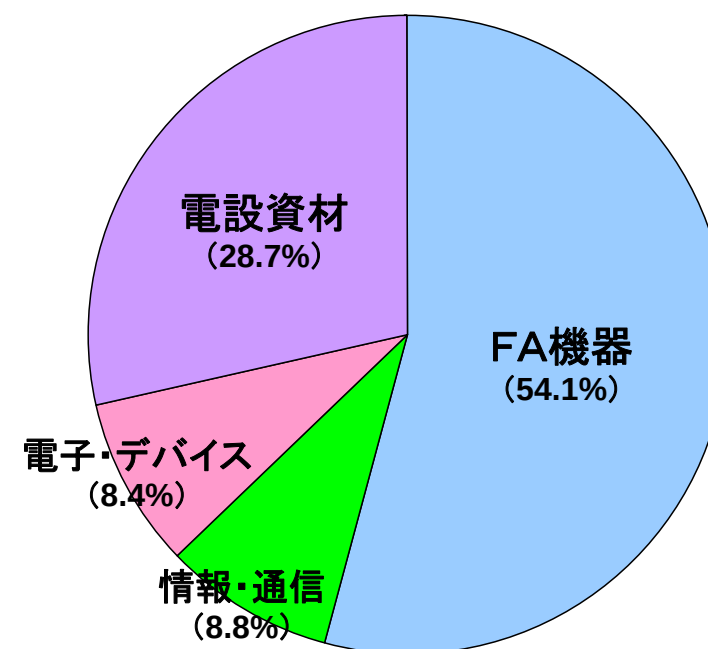
2012年3月期 商品分野別 売上高

単位:百万円

	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	通 期	構成比
FA機器	5,210	4,326	4,243	4,582	18,363	54.1%
情報・通信	787	697	719	782	2,987	8.8%
電子・デバイス	794	695	643	716	2,849	8.4%
電設資材	2,399	2,276	2,314	2,748	9,738	28.7%



2012年3月期 商品分野別 売上高推移



2012年3月期 商品分野別 構成比

要約 連結貸借対照表(資産の部)

単位:百万円

	2011年3月期	2011年9月期	2012年3月期	増減額(11年3月期対比)
流動資産	15,328	14,967	15,939	611 (4.0%)
（現金及び預金）	4,680	4,890	4,183	▲497 (▲10.6%)
（受取手形及び売掛金）	8,665	7,990	9,756	1,091 (12.6%)
（たな卸資産）	1,577	1,747	1,661	83 (5.3%)
固定資産	9,133	8,491	8,352	▲781 (▲8.6%)
（有形固定資産）	7,895	7,427	7,351	▲544 (▲6.9%)
（無形固定資産）	109	117	117	8 (7.3%)
（投資その他の資産）	1,128	945	883	▲244 (▲21.7%)
資産合計	24,461	23,458	24,291	▲169 (▲0.7%)

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加10億91百万円、在庫の増加83百万円によるものです。
 固定資産減少の主な要因は、東京都墨田区の両国センター売却による土地、建物等の減少3億75百万円、
 繰延税金資産の減少2億40百万円によるものです。

要約 連結貸借対照表(資本・負債の部)

単位:百万円

	2011年3月期	2011年9月期	2012年3月期	増減額(11年3月期対比)
流動負債	6,638	5,784	6,644	5(0.1%)
（支払手形及び買掛金）	4,950	4,489	5,364	414(8.4%)
（短期借入金）	606	606	595	▲11(▲1.9%)
固定負債	2,291	2,024	1,758	▲533(▲23.3%)
（長期借入金）	1,122	829	547	▲575(▲51.3%)
（退職給付引当金）	1,008	1,029	1,036	28(2.8%)
負債合計	8,930	7,808	8,402	▲527(▲5.9%)
（資本金）	1,819	1,819	1,819	— (— %)
（資本剰余金）	1,532	1,536	1,536	3(0.2%)
（利益剰余金）	12,336	12,481	12,698	362(2.9%)
純資産合計	15,531	15,649	15,889	357(2.3%)
負債純資産合計	24,461	23,458	24,291	▲169(▲0.7%)

流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加4億14百万円、未払法人税等の減少4億53百万円によるものです。

固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少5億75百万円によるものです。

純資産増加の主な要因は、当期純利益の計上5億81百万円と配当金の支払2億19百万円によるものです。

なお、自己資本比率は65.4%となりました。

要約 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2011年3月期	2011年9月期	2012年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	240	254	▲80
投資活動によるキャッシュ・フロー	751	413	407
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲324	▲460	▲819
現金及び現金同等物の増・減(▲)額	663	206	▲495
現金及び現金同等物の期首残高	4,002	4,665	4,665
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	4,665	4,872	4,170

①営業活動によるキャッシュ・フロー

増加要因は、税金等調整前当期純利益12億30百万円、仕入債務の増加4億15百万円であり、減少要因は、売上債権の増加9億31百万円、たな卸資産の増加83百万円、法人税等の支払額7億95百万円です。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

増加要因は、有形固定資産の売却による収入4億39百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

減少要因は、長期借入金の返済による支出5億86百万円、配当金の支払額2億19百万円によるものです。

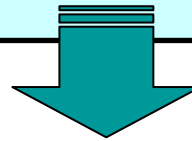


2. 第61期(2013年3月期)の見通し

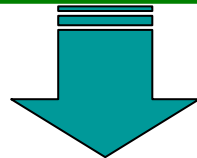


2013年3月期の見通し

復興需要や円高修正、米国・中国経済の景気回復等で生産活動は、徐々に回復すると思われるが、生産拠点の海外移転の流れも続き、従来の加速度的な回復は期待できない。



通期では、前期と同水準で推移するものと予測



FA機器、電子・デバイス機器、情報・通信機器分野

上期は横ばいも下期から回復と予測

当社主力業界と制御機器全体の出荷額推移予想や顧客動向等から見て、下期から回復すると見込み、成長業界への注力により売上を確保する。



電設資材分野

通期を通して横ばいと予測

電気工事関連顧客での大幅な売上増は見込めないが、節電、省エネ対応によりLED照明等を中心とした工場での需要が増える見込む。

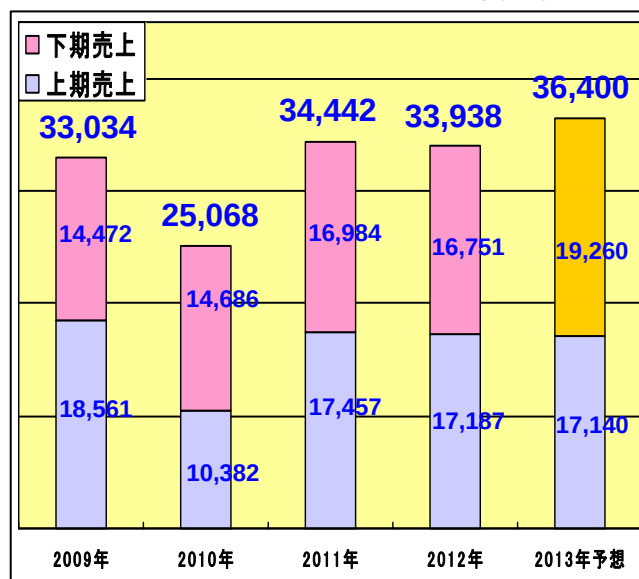
通期連結業績予想

単位: 百万円

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年3月期予想	増減
売上高	34,442	33,938	36,400	2,461 (7.3%)
営業利益	983	943	950	6 (0.7%)
経常利益	1,125	1,127	1,120	▲7 (▲0.7%)
当期純利益	694	581	670	88 (15.2%)
1株当り年間配当金	16 円	14 円	16 円	+ 2 円

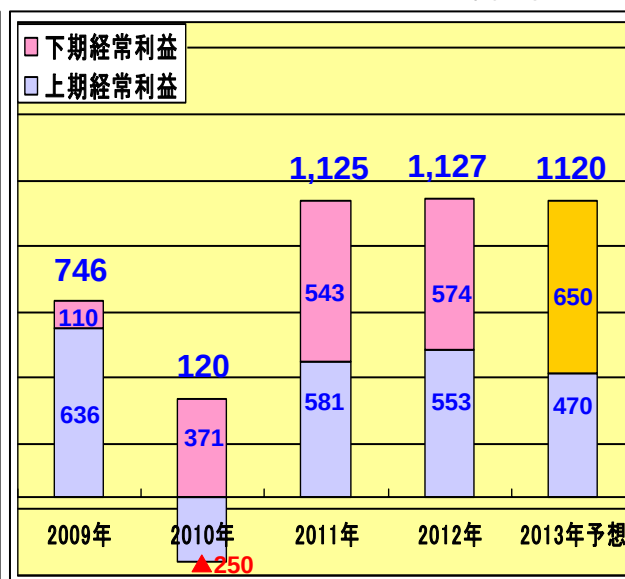
売上高

単位: 百万円



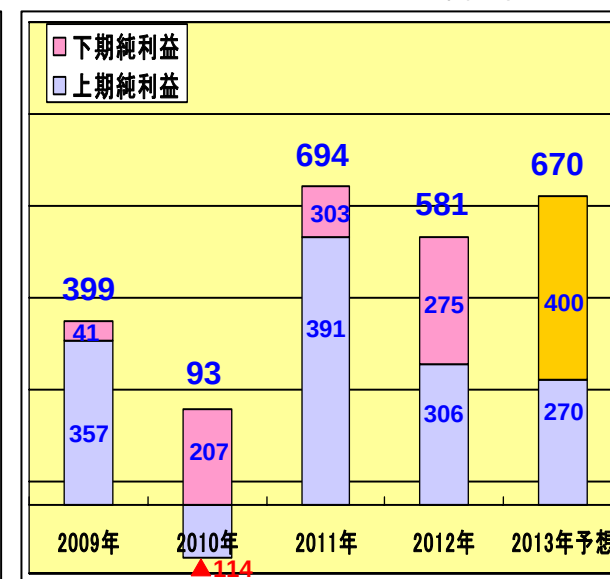
経常利益

単位: 百万円



当期純利益

単位: 百万円





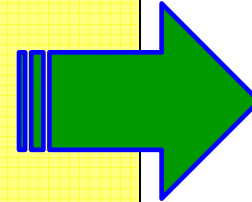
3. 重点課題・戦略



現状の景況認識

大幅な景気拡大は見込めず、不透明な状況が続く

国内市場が縮小する中、スズデンは
競合他社を凌駕し、国内での売り場
(顧客・商材・売り方)を拡大する。



- ・新規市場・顧客の開拓
- ・Webビジネスの拡大
- ・新規商材の開拓
- ・海外対応

61期～63期 「お客様から選ばれる企業の実現」

～お客様にとって価値ある商品とサービスの提供～

もの造りサポーティングカンパニー

重要課題・戦略

1. 新規市場・新規顧客の開拓
2. Webビジネスの拡大
3. 東北エリアの強化
4. 大和工場でのもの造り
5. 新規商材の開拓
6. 海外への対応

1. 新規市場・新規顧客の開拓

【成長・安定業界への継続的取り組み】

(1) 医療機器業界

多彩な機器組込用部品、物流／ITインフラ

- ①メディカル営業所の新設
- ②医療関連顧客への深耕
- ③MEDIX(医療機器 開発・製造展)出展による新規顧客・商談の獲得(6/20～22開催)

(2) 食品業界

主力のFA機器、ハード・ソフト一式提案

- ①商品・アプリケーション提案の継続
- ②機器組込需要及び大手食品メーカーのエンジニアリング会社への深耕
- ③FOOMA JAPAN(国際食品工業展)出展による新規顧客・商談の獲得(6/5～8開催)

1. 新規市場・新規顧客の開拓

【成長・安定業界への継続的取り組み】

(3) 環境関連市場

ニーズに合った最適な提案

- ①電力の見える化(計測機器) → 使用量の削減(省エネ機器)提案
- ②LED照明を中心とした省エネ・環境商材提案の継続
- ③機器単体～太陽光発電までの環境に関する総合力の強化

(4) EV／二次電池業界

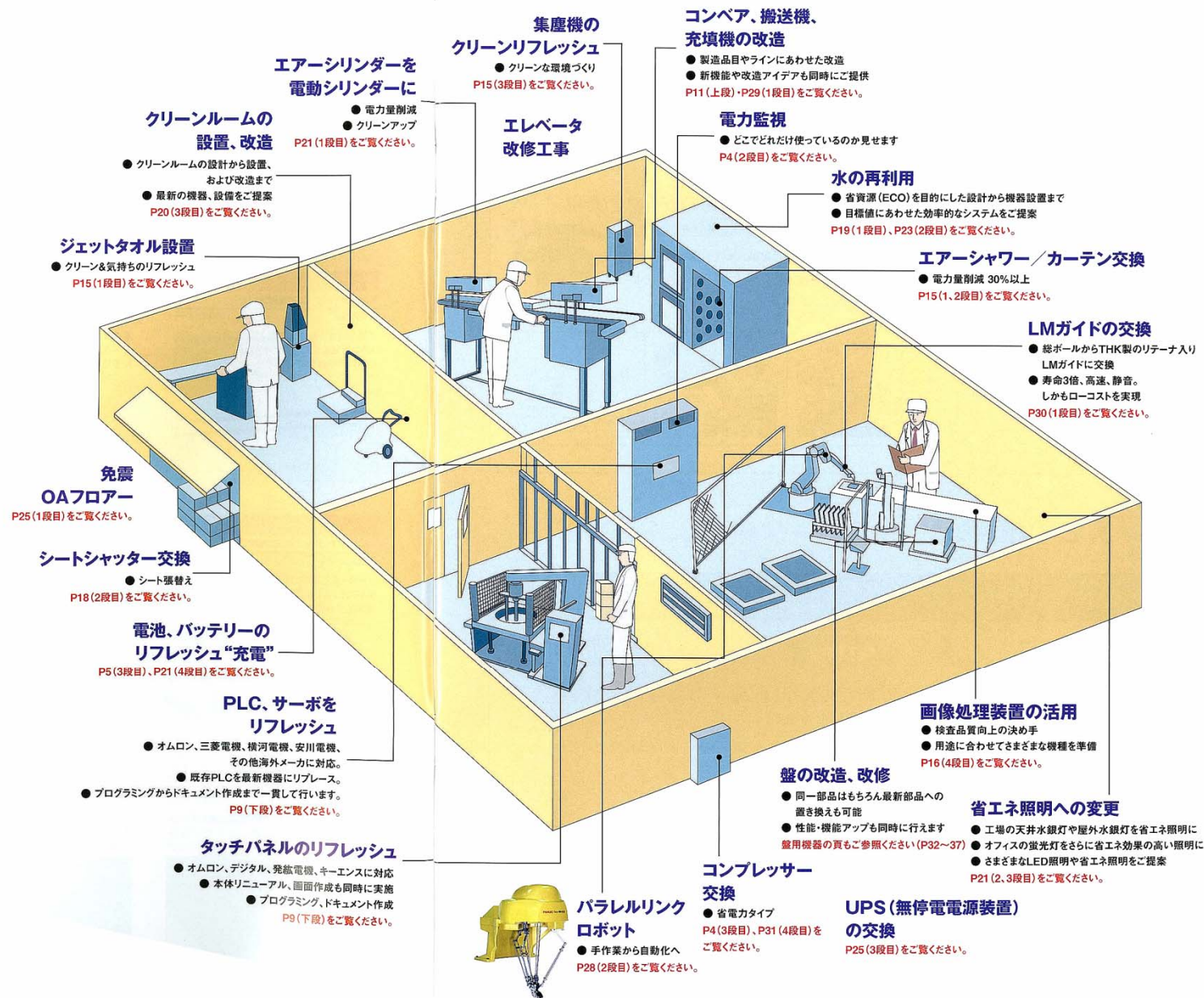
主力のFA機器、ハード・ソフト一式提案

- ①新規顧客・商談の獲得
2012年1月に出席した「EV・HEV 駆動システム技術展」のブース来場者、
および出展企業への営業活動
- ②「EV・HEV 駆動システム技術展(2013/1/16～18開催)」への継続出展

お客様を知る(マーケッター)活動を継続することで

「お客様から選ばれる企業」を実現

快適工場提案



快適工場提案 「省エネ」

ES

省エネ ENERGY SAVING
「快適工場」へのアプローチ

「いかに電気の使用量を減らすか」を考えます。
オフィスや工場の現場に合わせ一ータルで提案します。

「地球温暖化対策」の対応策としてのCO₂削減は、現代の企業にとって不可欠なテーマです。「快適工場づくり」のお手伝いをすすめるスズデンは、太陽光発電システムをはじめ、各種省エネ機器、さらにフロン回収まで「CO₂削減」計画を幅広く支援しています。また、電力監視システムなどを提案し、お客様のエネルギー使用量(CO₂発生量)の「見える化」をすすめるながら、適切な対応策をご一緒に考えていきます。

スズデンのCO₂削減ステップ

STEP1……「見える化」と測定

たとえば製造ラインやエリア単位で電力使用量の推移を細かくチェック。お客様と一緒に、省エネのポイントを探る手伝いをします。

STEP2……改善提案

●既存の設備を交換せずに省エネ提案

たとえば稼働していない時間のラインは止めるなど、時間単位の細かなエネルギー使用提案で、お金をかけない省エネのお手伝いをします。

●器具や機器を交換して省エネ提案

とくに「あかり」と「空調」を中心とした省エネ器具を、具体的な効果数値とともに提案します。

●ソーラーで省エネ提案

太陽光発電による、さらに進化した省エネスタイルを提案します。

省エネをテーマにしたさまざまな安心サービスをご利用ください。

●あかり安心サービス

蛍光灯を対象としたサービス

●フィルター安心サービス

空調用フィルターを対象としたサービス

●エネルギー安心サービス

産業用バッテリー、乾電池を対象としたサービス

●金属リサイクルサービス

電線、照明器具などのリサイクルサポート

●屋上緑化サービス

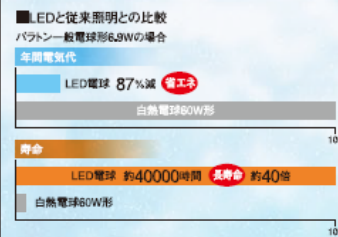
屋上緑化、壁面緑化を足しようとしたサービス

●照明器具診断サービス

省エネ蛍光灯と器具を対象としたサービス

照明 LED化のすすめ

省エネルギー対策では、工場内部の設備機器は各メーカーでかなり省エネが進んでいますが、照明については手つかずの会社が多くみられます。照明を普通の蛍光灯からLEDに変更すると大幅な電力削減が可能となります。特に24時間点灯している場所や使用頻度の高い事務所に威力を発揮します。



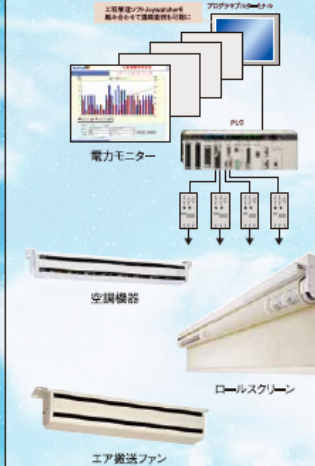
設備 電力消費を抑える

工場で使用している設備や、機器を見直すことにより電力の使用を削減することができます。例えば、エア—機器を使わない電動シリンダの活用、インバータやサーボモータの採用、自家発電用発電機の利用など、様々な工夫をご提案いたします。



見える化と効率化

電気の使用量や系統別の使用状況を電力モニターでグラフ化し、設備の改善や電力の契約メニューの見直しなどを提案します。また、熱効率をアップする空調機器やロールスクリーンも対応します。環境貢献につながる太陽光発電システムも取扱いしています。



■太陽光発電システム導入について



2. WEBビジネスの拡大

【お客様の購買形態に対応した継続投資】

(1) インターネット通販サイト FA Ubon(エフエー ユーボン)の強化

① 会員とコンテンツの拡大

- ・継続的な広告と販促活動 … Web広告、DM
- ・掲載品目の拡大

② 在庫拡充による短納期の実現

(2) 集中購買へのシステム対応

(3) EDI取引の拡大



3. 東北エリアの強化

【産業集積地区への営業活動の強化】

- (1) 半導体・自動車関連業界への注力
- (2) 復興需要

継続的な投資を行うことで新しい売り場を拡大

4. 大和工場でのもの造り

【スズデンの新しい顔。ステージは「もの造り」へ】

(1) 大和工場の強化

- ① 生産品目の強化・拡充
 - ・組立加工、ケーブルアッセンブリー、ユニット製作等
- ② 品質強化(ISO9001／14001取得予定)

「もの造りサポーティングカンパニー」として成長し続けます

5. 新規商材の開拓

- (1) オリジナルブランド「UBON(ユーボン)」の品揃え拡大
- (2) メカトロニクス、セーフティ(安全)関連商材の拡販
- (3) MRO商材の拡販

お客様の現況に合った品揃え・サービスの強化

6. 海外への対応

(1) 中国市場への取り組み

- ① 海外営業部による中国進出企業のフォロー
- ② 上海現法の更なる強化

お客様の生産拠点の海外移転への対応

その他の課題

(1)BCMの継続

- ①免震構造、発電機設置による危機管理
- ②首都圏直下型地震を想定したプランの作成(初動マニュアル完成済)

(2)東京物流センターにおける物流品質の向上

- ①物流システムの品質向上活動の継続



全 景



免震装置

東京物流センター(千葉県松戸市)



スズデン株式会社

ご清聴、ありがとうございました。

【注意事項】本資料に記載されている、スズデン株式会社の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。